

徳島県総合計画審議会計画推進評価部会における委員意見の反映等について

1 開催日時 平成17年8月2日(火) 13:30~15:00

2 いただいたご意見の概要及び意見に対する県の考え方

(1) オンリーワン徳島行動計画の施策等に反映した意見

1 「オープンとくしま」の実現

「達成」及び「順調」が9割近いところ、全体としては非常にいい数字である。

「オンリーワン徳島行動計画」によって徳島は変わったのかどうかという部分が一番大事だと思うが、まだ1年半も経っていないが、県民もある程度変化を感じられているのではないかと考えています。

目標という考え方で、県として県だけでできることと、県民私たちみんながやらないとできないことというのがあると思う。県民と一緒に意識を変えるだとか、経済の活性化だとかという大きなことはやはり時間がかかるだろうから、もっと広告予算をとって周知徹底の部分にもっとお金を、予算をたくさん取っていただきたい。

[県の考え方]

平成16年度の計画の進捗状況については、総括して言えば、「概ね順調に進捗している」と言うことができるのではないかと考えております。

また、「オンリーワン徳島」の実現に向け、県が率先して取り組むことは当然であります。県民も、事業者も、市町村も、自主的・率先的に取り組むことにより、初めて「オンリーワン徳島」が実現できるものと考えております。

このため、平成18年度は計画の集大成の年として、計画の着実な推進に取り組むとともに、その結果として徳島が良くなった点など、県民生活の変化が実感できるような広報を積極的に行うことにより、県民の皆様が主体的に参画していただけるよう、努めてまいります。

[計画への反映]

重点施策 オープンとくしまの展開

「とくしま県民活動プラザ」は今年度になって非常に利用しづらくなった。会議室も土曜日の夜 9 時まで使えていたのが 6 時までになり、印刷も夜 9 時までだったのが平日でも 6 時で終わりになった。

実は土曜日の晩というのは、NPO 活動やボランティア活動をされている方が非常に集まりやすい時間で、みんながよく使っていた時間帯がなぜ使えなくなったのか疑問に思う。

[県の考え方]

とくしま県民活動プラザについては、平成 17 年 8 月から、土曜日の開館時間を 21 時までに変更し、会議室及び印刷機等が利用できるようになりました。

さらに、印刷機等の夜間使用については、平成 18 年 4 月からは火曜日から土曜日までの夜間使用ができるよう、改善見直しを図ってまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしまパートナーシップの推進

主要事業 NPO・ボランティアとの連携・協働

南部総合県民局の地域政策総合会議の委員をしているが、組織の改変というのは、人を変えらと思うし、一番大きく変わったと感じるポイントになるのではないか。

[県の考え方]

南部総合県民局は、これまでの本庁の各部が分野別に出先機関に指揮監督を行う縦割り方式ではなく、県民局長の総括のもと、地域振興を総合的、効率的に推進することのできる、地域完結型の総合行政機関として本年度スタートいたしました。

今後とも、「住民の目線」・「地域の目線」を大切に、「住民の皆様の夢」の実現や課題解決に向け取り組んで参ります。

[計画への反映]

重点施策 リフレッシュとくしまプランの展開

主要事業 出先機関の再編・機能強化

2 「経済再生とくしま」の実現

「県内木材の利用」については様々な具体的な施策をされているが、徳島のスギの良さやスギを使う理由とかをマスコミや広報等を通じてもっと広めて欲しい。

[県の考え方]

本県は、スギの生育に適し、その面積は人工林の約7割を占めており、また、スギの製品は古くから高い評価を受けてきています。

このため、イベントや住宅部材の提供事業を通じた普及啓発や公共事業での利活用、設計士や工務店が使い易い環境づくりなどを積極的に実施し、「徳島すぎ」の需要拡大を図って参りたいと考えています。

[計画への反映]

重点施策 とくしま産業再生事業の推進

主要事業 業界団体への支援による地域産業の活性化

今までの農業施策は目に見えづらかったが、今のブランド戦略とか、「新鮮なとくしま号」トラック、「安²認証制度」の構築とか、目に見える政策は、農業者としては励みになる政策だったと思う。

ただ、それが農業関係者まで十分周知徹底されていないので、県下全域に周知するような方策も考えて欲しい。それから、こういう色んないい政策を、マスコミを通じて、県外にも広くアピールして欲しい。

[県の考え方]

「新鮮なっ！とくしま」号の県内での展開を増やすなどして、県下全域にブランド品目の消費拡大や、地産地消の推進などを進めてまいります。また、マスコミには、積極的な情報提供を行い、「安全・安心への取り組み」や「とくしまブランド」の幅広いアピールをしてまいります。

[計画への反映]

重点施策 新鮮とくしまブランド戦略の展開

主要事業 新鮮とくしまブランド戦略の展開

3 「環境首都とくしま」の実現

アスベストの問題であるが、「とくしまいい生活環境づくり」の中に、この項目なり、目標設定を再考して欲しい。

[県の考え方]

大気中のアスベスト濃度については、昭和63年から継続的に測定を行っており、今後、測定個所を増やしその把握に努めます。

なお、アスベスト濃度については国による環境基準（目標設定）は定められていないことから、WHOの健康影響判断基準を指導基準として準用しています。

[計画への反映]

重点施策 とくしまいい生活環境づくり

主要事業 大気環境等の保全

4 「安全・安心とくしま」の実現

南海地震に関連して、自主防災組織の結成や災害弱者に対する要援護者支援マニュアルを作成しているが、これもどうやって広げていくかということが問題である。

また、個人情報保護法が非常に難しくなっており、災害弱者の方がどこに住んでいるのかという情報が、そう簡単にオープンにできなくなっている。やはり、自主防災組織というのは、ご近所のそういう災害弱者の方も含めて状況を掴んでいるということが一番災害時に力を発揮するのではないかと思う。

[県の考え方]

自主防災組織の結成を促進するため、市町村が実施する事業を支援するとともに、地域の防災リーダーとなる「地域防災推進員」の養成に努め、組織のリーダーを対象とした研修会を開催しております。

また、災害時要援護者支援対策マニュアル（平成16年3月）や障害者等防災マニュアル（平成16年9月）を作成し、市町村等に配付するとともに研修会を実施するなど、地域における取り組みを促進しております。

なお、災害時要援護者の状況を把握する際には、個人情報保護への配慮が重要であり、市町村や自主防災組織等において情報収集する場合には、情報の管理体制を明確にした上で、本人または家族の理解と同意を得る必要があります。

このため、災害時要援護者支援対策マニュアルの中で、市町村や自主防災組織等が情報収集する方法を例示することにより、情報の適切な管理を促進しております。

[計画への反映]

重点施策 とくしま - 0 (ゼロ) 作戦の展開

主要事業 地域防災力の強化

耐震診断が進んでいない地域についてはできるだけPRをやっていただきたい。
また、それによる耐震改修についても、実績がかなり低いので、制度の周知やその必要性に対して行政から訴えかけていただきたい。

[県の考え方]

住宅の耐震化促進については、昭和56年以前に建築された木造住宅に対して、平成16年度より耐震診断・耐震改修への支援を開始しています。診断については県内全市町村で実施されており、自己負担3千円で診断が受けられます。

また、診断の結果「倒壊の危険あり」とされた住宅で、一定水準以上の安全性を確保する改修工事を施工するものに対し県と市町村で工事費の2/3以内かつ最大60万円を補助することとしており、平成17年度は県内21市町村で実施されています。

耐震診断の推進については、地震に対する知識や防災意識の向上を図り、その必要性を市町村とともに周知していきたいと考えています。

また、耐震改修補助の県内全域での実施にむけ市町村の取り組みを強化するとともに、耐震相談所の活用や施工者講習会の開催、パンフレットの作成、また、広報や新聞等マスコミへの取材協力を通じて制度の普及・啓発に努めます。

さらに、簡易な耐震補強工事に対する支援制度を平成18年度から実施する予定であります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま - 0 (ゼロ) 作戦の展開

主要事業 地震・津波災害に強いまちづくり

県が招いている病院事業管理者についてテレビ番組を見たが、看病する家族にとっては病院というのは医療技術だけでなく、勤める方の心を敏感に感じられる場なので、その先生の行動はすごく親身にテレビを通じて感じた。

県立病院の件については、よい方向に向いているのか。

[県の考え方]

塩谷管理者による、病院経営改革は始まったばかりですが、中央病院における外来受付の変更、三好病院の救命救急センターの開所、海部病院に対する中央病院医師の応援

派遣等、「県民に支えられた病院として、県民医療の最後の砦となる」との病院事業の理念に近づくための取り組みの成果が、次第に現れ始めております。

また、収支も年度途中ではありますが、前年同月比で好転しておりますので、今後全国の優良病院の取り組みを積極的に取り入れつつ、「県民に支えられる条件」である、「医療の質」、「医療の透明性」、「医療の効率性」の3つの条件を備えた病院となるべく取り組んでまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま安心ライフの実現

主要事業 県立中央病院の改築

医療に対する需要と供給が非常にずれてきているので、それをできるだけ柔軟に対応するような、そういう施策が必要なのではないかと思う。

(例えば、今怪我をして病院に入院すると、子どもが少なくなっているのに、小児科の病室に入れられる。)

病院というのは、サービス過剰になることを求めているのではないが、必要最低限のサービスは必要であり、地元の個人病院との住み分けの中で、県立病院の位置という辺りも明確に広報、周知していただけたらと思う。

[県の考え方]

現在、厚生労働省の「医療計画の見直し等に関する検討会」において、これまでの医療計画に比べ具体的で分かりやすい、新たな医療計画の体系が検討されており、今後、こうした議論を踏まえ、地域の医療需要を反映した適正な医療供給体制の構築を図ってまいります。

また、県立病院はその地域の人口構成、産業や医療機関の立地状況に応じて、診療体制を整備してきました。特に救急や小児科、産科等のような不採算部門も「地域における最適医療」を担うため、中心的に体制整備に取り組んでまいりました。

今後も民間医療機関との診療連携を基本とした、「スペースを埋める医療」を原点として、3病院の特色と高度な医療機能が十分生かせるよう、柔軟かつ積極的に診療体制の整備に取り組むと共に県民に対し広報、周知してまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま安心ライフの実現

主要事業 安全で安心できる医療の提供
県立中央病院の改築

5 「いやしの国とくしま」の実現

教育委員会では個性豊かな教育の推進ということで、高校入試制度の改革を進めておられるが、高校側も個性はハードでなく、ソフトで勝負するという考え方に改めて欲しい。そのソフト面で言えば、オンリーワンハイスクール事業は非常に面白い取組だが、どこで何をしているのか全部分かるような、情報の一元化を進めていく必要があるのではないか。

[県の考え方]

平成14年2月に策定された県高校教育改革推進計画に基づいて、学科の特長や学校の個性を生かして、魅力と特色のある学校づくりを推進しているところであり、平成16年度からは、学校・学科の特色に相応しい生徒の入学が促進されるように、各学校

の判断で創意工夫できる前期選抜を導入しました。また、各学校の前期選抜実施要領に、学校の特色を明記するとともに、学校説明会等において、生徒・保護者に各学校の教育内容等を広報・周知しております。今後とも各学校の特色ある学校づくりへの取り組みを支援してまいります。

また、オンリーワンハイスクール推進事業につきましては、各実施校とも「地域に開かれ、地域に根ざしたオンリーワンハイスクール」を目指し、地域住民や地元の小・中学校等への広報にも努めており、「生徒活動発表会」において自校の活動を発表して高校生の参画意識を高めるとともに、「発表要旨集」を県下の中学校にも配布して、各高校の取り組みを紹介しております。今後とも、こうした情報を一元化して提供していく仕組みを充実してまいります。

[計画への反映]

重点施策 とくしま子どものびのびプランの展開

主要事業 個性豊かな教育の推進

「家庭いきいき支援者養成講座」は受講者として数値は上がっているが、この終了した方たちが地域で活躍できる場が非常に少なく、どうもそれが繋がっていかない。そういう意味では、あらゆる各市町村の方で、コーディネートしてくれる方がどんどん巣立っていかねばいけないと思う。

[県の考え方]

家庭や地域の教育力の向上を図るため、地域で活動できる家庭教育支援者の養成に努めておりますが、平成18年度から、各地域において具体的に地域や家庭の教育力の再生をはかるコーディネータの養成を開始する予定です。

[計画への反映]

重点施策 生涯を通じた学びの推進

主要事業 家庭・地域における教育の充実

6 「ユニバーサルとくしま」の実現

「地域子育て支援センター」については、市町村合併が進んだことによって、お互いに子育て支援の気運が大きく刺激し合っていて、今まで動きにくかった県南、県西部で子育て支援頑張ろうという声があがってきている。

お母さんたちがすごく重い悩みが多すぎて、「すきっぷ」の受け入れ体制は、いまアップアップ状態になってきている。まず子育て支援センターの協定を作っていて、今ある保育所の支援センターの枠を越えて、地域の中にそういう相談ができる居場所づくりが早急に求められているように思う。

[県の考え方]

地域子育て支援センターをはじめ保護者が相談できる居場所づくりについては、引き続き拡充に努めます。また、平成18年度より「子育て総合支援センター（仮称）」を設置し、地域子育て支援センター等関連組織相互の連携を図るとともに、関係者の育成等を進めていくこととしています。

[計画への反映]

重点施策 健やか子育て環境づくり

主要事業 地域の子育て機能の強化

少子化問題については、子供を育てる環境にバックアップできるような、女性が働きやすい職場づくりが重要なので、企業の啓発に県の力を貸していただきたい。

[県の考え方]

国においては、少子化対策として、次世代育成支援対策法が平成15年7月に成立し、従業員301人以上の事業所に「一般事業主行動計画」の策定・届出が義務づけられ、推進しているところですが、現在、県におきましては、策定・届出が義務づけられていない従業員300人以下の事業所に対しても「一般事業主行動計画」の周知・啓発、指導等による策定推進を行っております。

また、「育児・介護休業法」の定め以上の制度を労働協約等に規定し、制度利用を図る企業等に対し支援を行うとともに、職場復帰や再就職の際に、仕事と家庭の両立支援に関する情報提供・相談にも対応できる体制の整備を行っており、働きやすい職場環境づくりを推進しております。

平成17年度においては「次世代育成タウンミーティング」「少子化を考える国民の集い」を計3回開催し、この中で育児休業の取得者等をパネリストに迎え、職場における育児支援の重要性を訴えましたが、平成18年度では、「ワーク・ライフ・バランス推進事業」において、企業に子育て支援への協力を求めながら事業を進めてまいります。

[計画への反映]

重点施策 健やか子育て環境づくり

主要事業 次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画の策定・推進

ユニバーサルデザインを推進しようとする中で、「徳島県ひとにやさしいまちづくり条例」は中身が非常に古いので、今の動きに合った内容のものに改正して欲しい。

また、人にやさしいまちづくり推進協議会の調査部会委員で、車椅子や高齢者、子供のトイレの表示等で調査をさせてもらって大変参考になったが、この2年間会議の開催がないが、社会が大きく変わっているので、そろそろ委員会もまた開いていただきたい。

[県の考え方]

「徳島県ひとにやさしいまちづくり条例」は平成8年度に公布・施行していますが、条例制定後、国においては、体が不自由な方々が建築物や公共交通機関を利用される場合の利便性等の向上を図るための関係法律*が整備されたほか、新たに「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律案」(仮称)の制定の動きもあります。

また、県においては平成16年度末に「徳島県ユニバーサルデザイン基本指針」を策定するなど、条例を取り巻く状況は変化してきています。

このため、平成18年度は、これらの状況の変化との整合を図るとともに、徳島県の特色を出しながら「ユニバーサルデザイン」を前面に押し出した条例に全面改正する予定です。

また、人にやさしいまちづくり推進協議会の調査部会については、改正後の条例の規定や基準に沿い、調査の視点や方法等について改めて見直しを行い対応してまいります。

* 交通バリアフリー法、ハートビル法

[計画への反映]

重点施策 ユニバーサルなまちづくり

主要事業 ユニバーサルデザインの推進

「徳島県ひとにやさしいまちづくり条例」の推進

7 「にぎわいとくしま」の実現

道の活動というものもしているが、道路整備も県南は遅れているので、広い土地をもっと有効に使えばいいと思う。

[県の考え方]

南部圏域の振興を図るに当たって、高速道路や地域高規格道路の整備は必要不可欠なものと考えております。そのため、現在策定中の「南部圏域振興計画（仮称）」において、重要かつ緊急の課題の一つとし、四国横断自動車道、阿南安芸自動車道の早期整備に向け、取り組むこととしております。

[計画への反映]

重点施策 とくしま大交流回廊（スーパーコリドー）の推進

主要事業 高規格幹線道路の整備
地域高規格道路の整備と主要幹線道路の整備

(2) 今後の検討課題とするものなどその他の意見

達成度3で目標があまり到達していないというのは、やり方が悪いか、テーマ自体、目標設定自体に問題があるかということも結構あると思うので、達成感のある、現実可能な目標設定をしていただきたいと思います。

[県の考え方]

目標水準・数値目標については、各事業毎に最大限努力して達成できると判断して設定したのですが、今後とも審議会等のご意見も踏まえながら、より適正な目標設定に努めてまいります。

300もある施策を個別に一つひとつ評価するのではなく、重点施策の推進方向があると思うので、テーマごとにその評価を書きいただければ、分かりやすく、理解できるのではないかと。

[県の考え方]

計画の進捗状況の点検・評価の手法については、今後、より分かりやすく、適切な方法を検討してまいりたいと考えております。